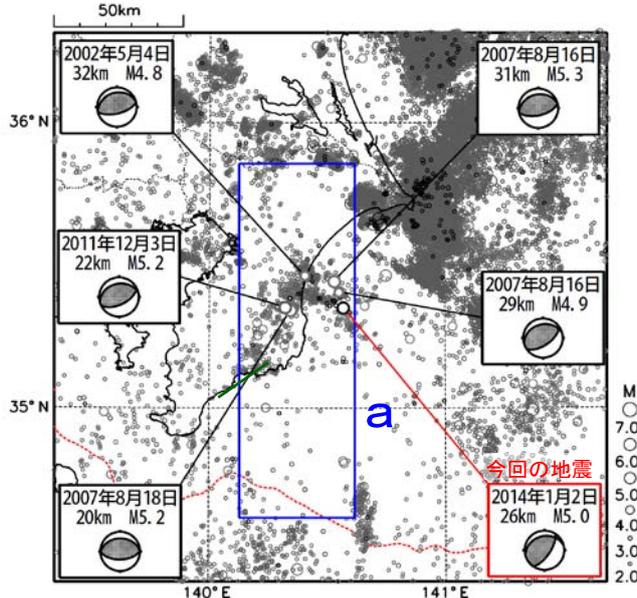


1月2日 千葉県東方沖の地震

震央分布図※

(1997年10月1日～2014年1月9日、
深さ0～60km、 $M \geq 2.0$)
2013年12月以降の地震を濃く表示



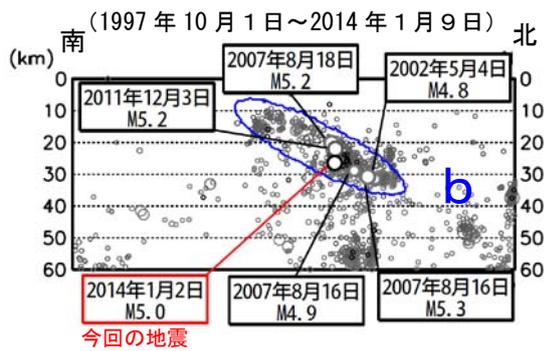
2014年1月2日22時11分に千葉県東方沖の深さ26kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

今回の地震の震源付近(領域b)では、その後、震度1以上を観測する地震が6回発生するなど地震活動が活発化している(1月9日現在)。

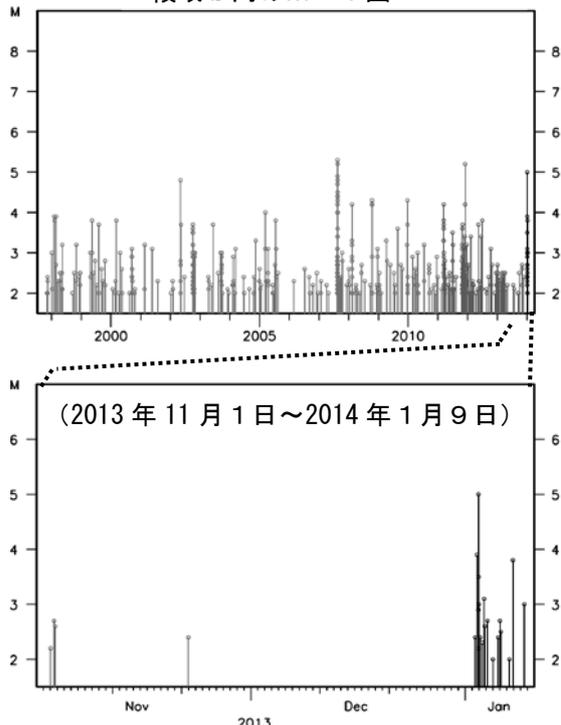
今回の地震の震源付近では、今回の地震活動に同期してプレート境界でゆっくりすべりが発生しており(国土地理院、防災科学技術研究所による)、過去にも1996年、2002年、2007年、2011年に、ゆっくりすべりと地震活動が同期して発生した。

1923年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が4回発生しており、そのうち、1987年12月17日に発生した千葉県東方沖の地震(M6.7、最大震度5)では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家一部破損7万余等の被害が生じた(「理科年表」による)。

領域a内の断面図(南北投影)※

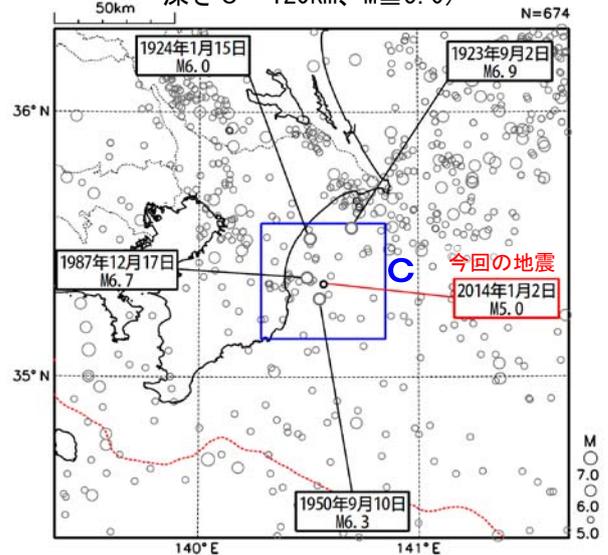


領域b内のM-T図※

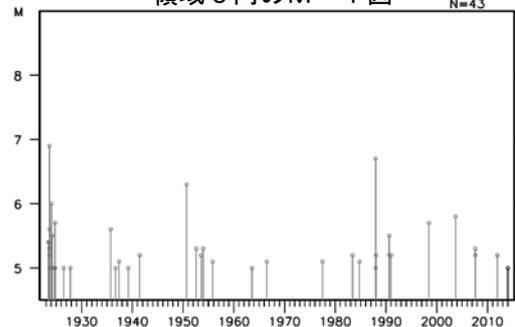


震央分布図

(1923年1月1日～2014年1月9日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図



※ 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

千葉県東方沖の過去の地震活動

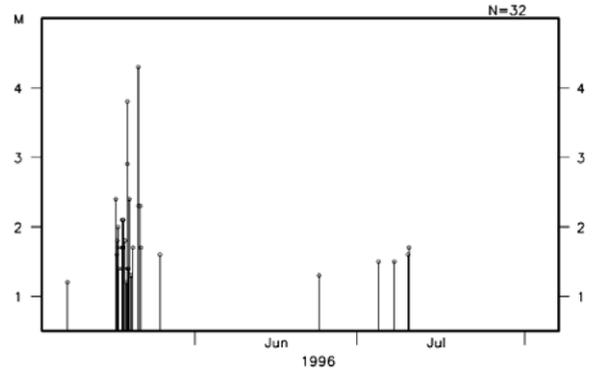
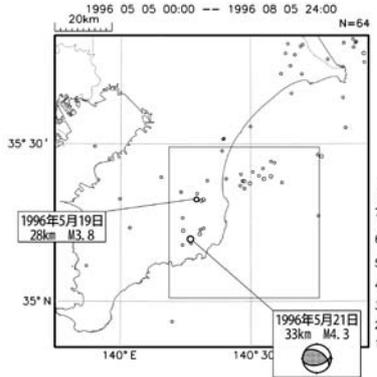
(房総半島沖のゆっくりすべりと同期する地震活動)

震央分布図 (深さ 0~40km, M \geq 1.0)

矩形内のM-T図

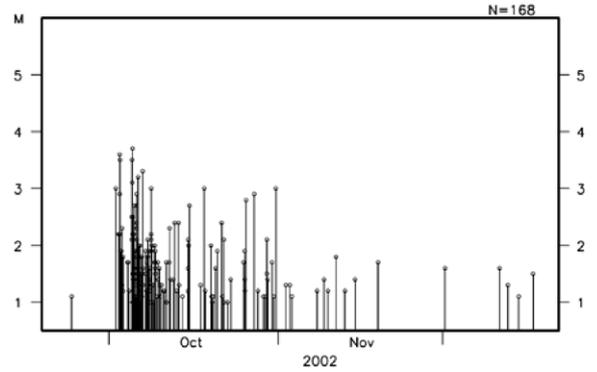
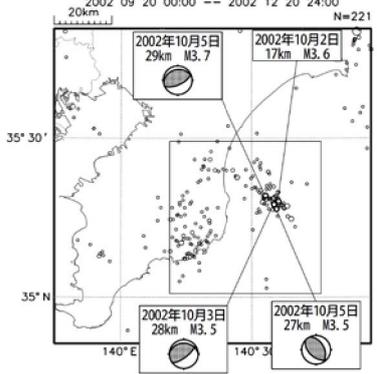
1996年

1996年	5月	6月	7月	合計
震度1	0	0	0	0
震度2	3	0	0	3
震度3	0	0	0	0
震度4	0	0	0	0
震度5弱	0	0	0	0
震度5強	0	0	0	0
合計	3	0	0	3



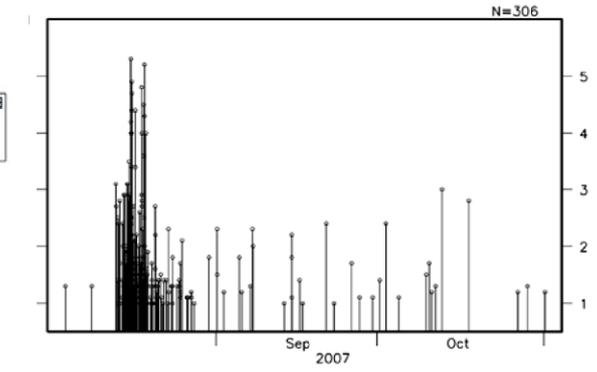
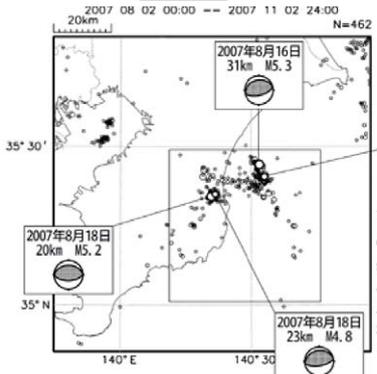
2002年

2002年	10月	11月	12月	合計
震度1	10	0	0	10
震度2	3	1	0	4
震度3	0	0	0	0
震度4	0	0	0	0
震度5弱	0	0	0	0
震度5強	0	0	0	0
合計	13	1	0	14



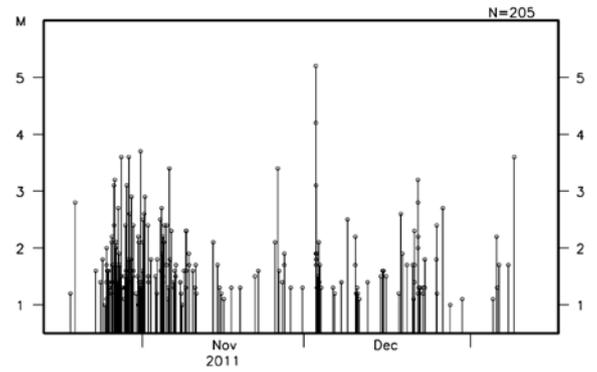
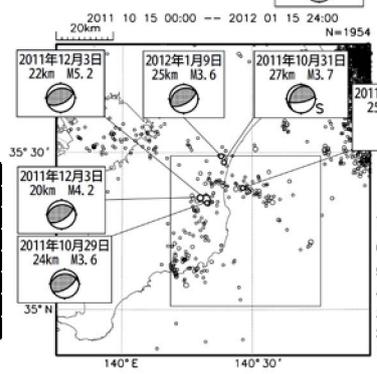
2007年

2007年	8月	9月	10月	合計
震度1	12	3	2	17
震度2	8	0	1	9
震度3	7	0	0	7
震度4	3	0	0	3
震度5弱	1	0	0	1
震度5強	0	0	0	0
合計	31	3	3	37



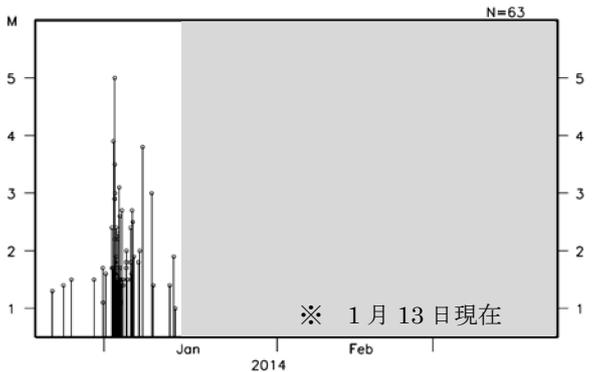
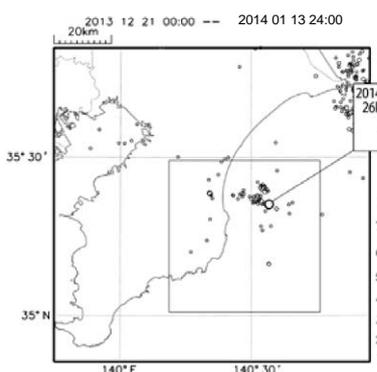
2011年

2011年	10月	11月	12月	1月	合計
震度1	5	3	5	4	17
震度2	4	3	2	0	9
震度3	0	0	1	1	2
震度4	0	0	1	0	1
震度5弱	0	0	0	0	0
震度5強	0	0	0	0	0
合計	9	6	9	5	29



2014年

2014年	1月	合計
震度1	5	5
震度2	2	2
震度3	2	2
震度4	0	0
震度5弱	0	0
震度5強	0	0
合計		



※ 1月13日現在

※ 1月13日現在

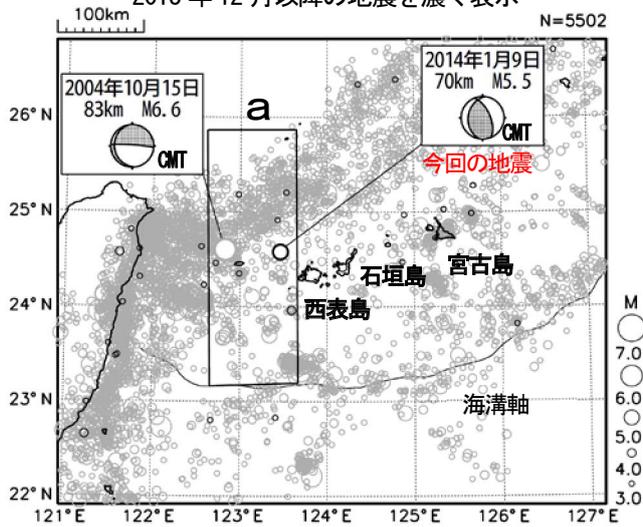
2014

1月9日 西表島付近の地震

情報発表に用いた震央地名は「石垣島近海」である。

震央分布図

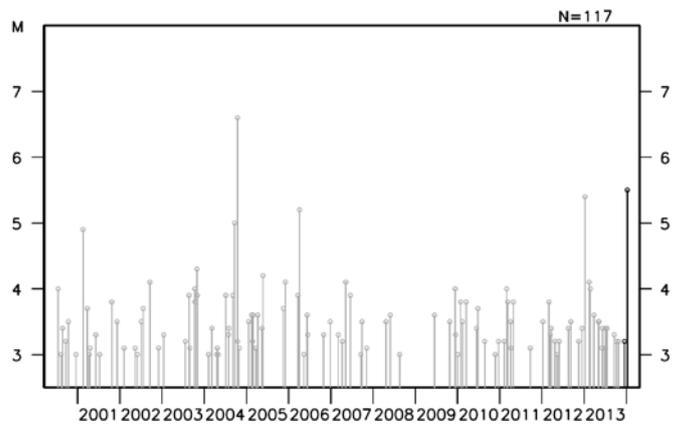
(2000年7月1日～2014年1月9日、
深さ30～200km、 $M \geq 3.0$)
2013年12月以降の地震を濃く表示



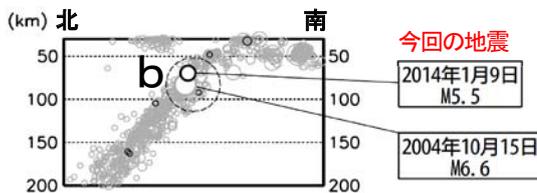
2014年1月9日03時15分に西表島付近 (西表島の北西約40km) の深さ70kmで $M 5.5$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

2000年7月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2004年10月15日に $M 6.6$ (最大震度5弱) の地震が発生している。

領域b内のM-T図

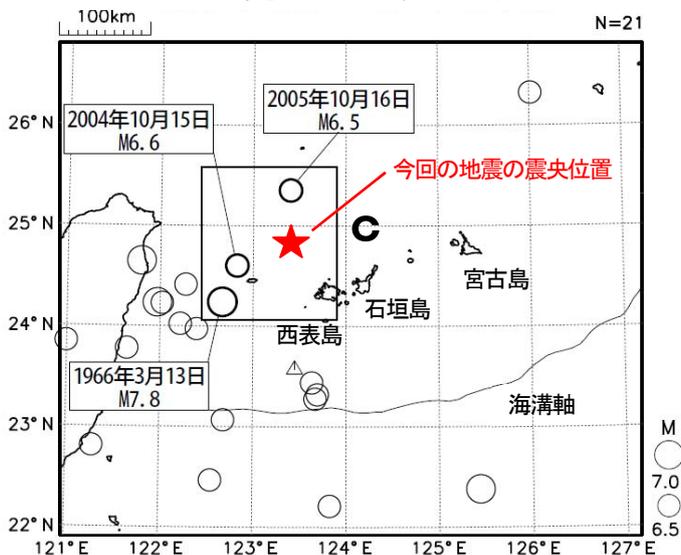


領域a内の断面図 (南北投影)



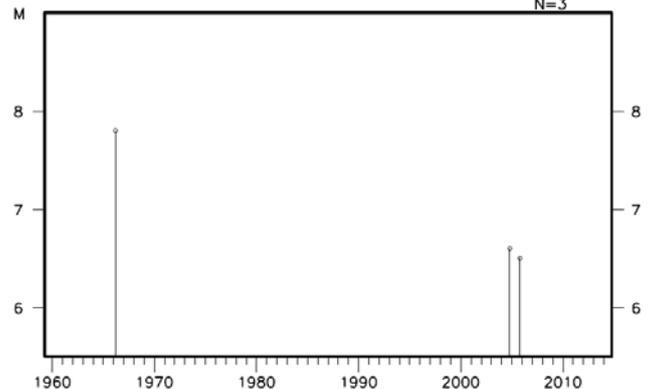
震央分布図

(1960年1月1日～2014年1月9日、
深さ30～200km、 $M \geq 6.5$)



1960年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1966年3月13日に $M 7.8$ の地震 (最大震度5) が発生し、与那国島で死者2人、家屋全壊1棟、半壊3棟などの被害が生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)